

「令和の日本型学校教育」を推進する地方教育行政の充実に向けた
調査研究協力者会議

教育委員会会議の活性化について



令和4年9月16日
宮崎市教育委員会

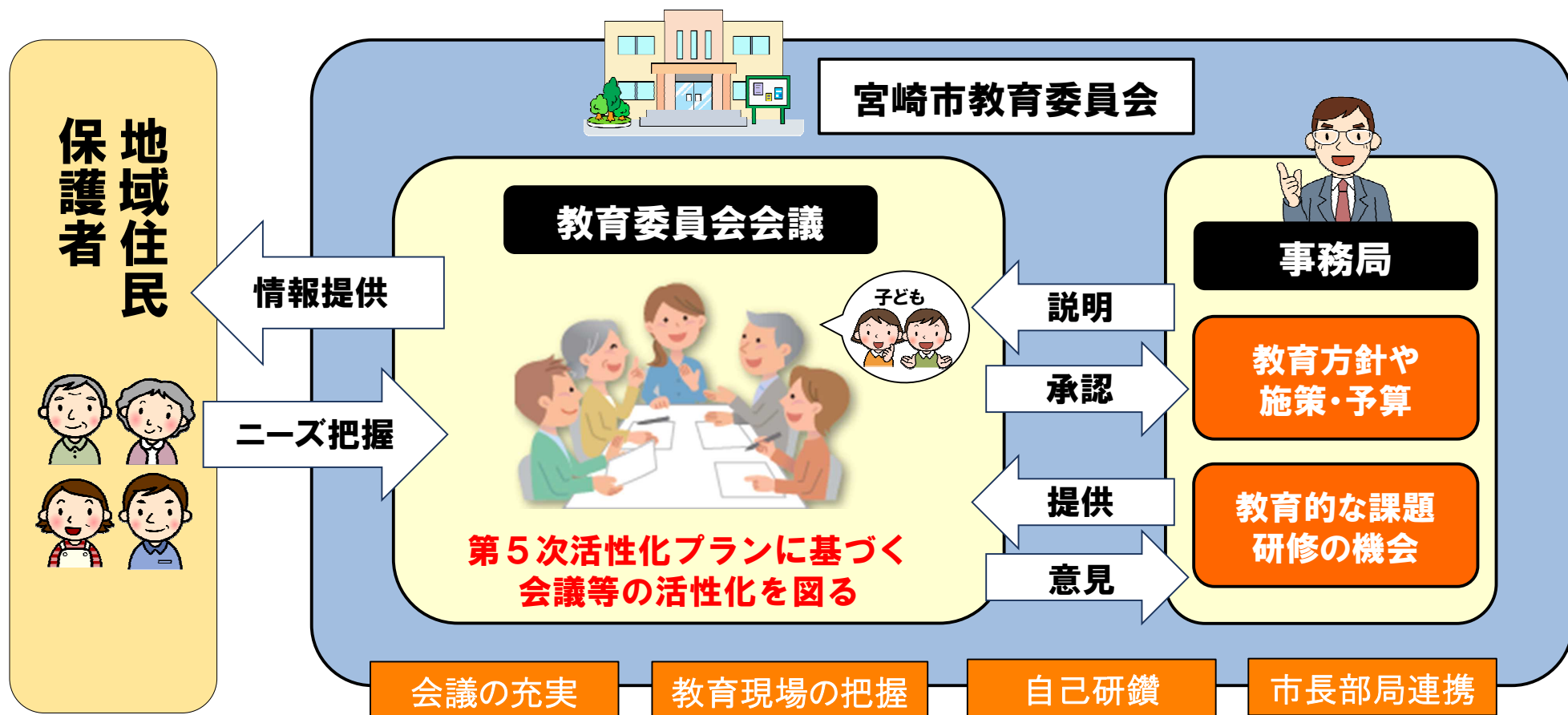
教育委員会会議の活性化に向けて

目次

- 1 教育委員会活性化プランを策定するに至った経緯
- 2 現在の取組内容と変化
- 3 取組に対する評価と効果
- 4 取組に対する課題

教育委員会の活性化に向けた考え方と方策

「令和の日本型学校教育」を推進する地方行政の充実に向けた検討(案)(令和3年7月8日中央教育審議会初等中等教育分科会資料)をふまえ、社会の変化に素早く的確に対応するための方策や機動的、自律的な学校運営を支援する方策、首長部局との連携、外部人材の活用、デジタル化への対応等を含む、「教育行政の推進体制」の在り方について、「教育委員会会議の活性化に向けた方策」の視点で整理することとした。



1 教育委員会活性化プランを策定するに至った経緯

1

平成19年法改正 教育委員会体制の充実

2

教育委員会「改革プラン」(H19年)

3

宮崎市第二次教育ビジョン(H30年)現行

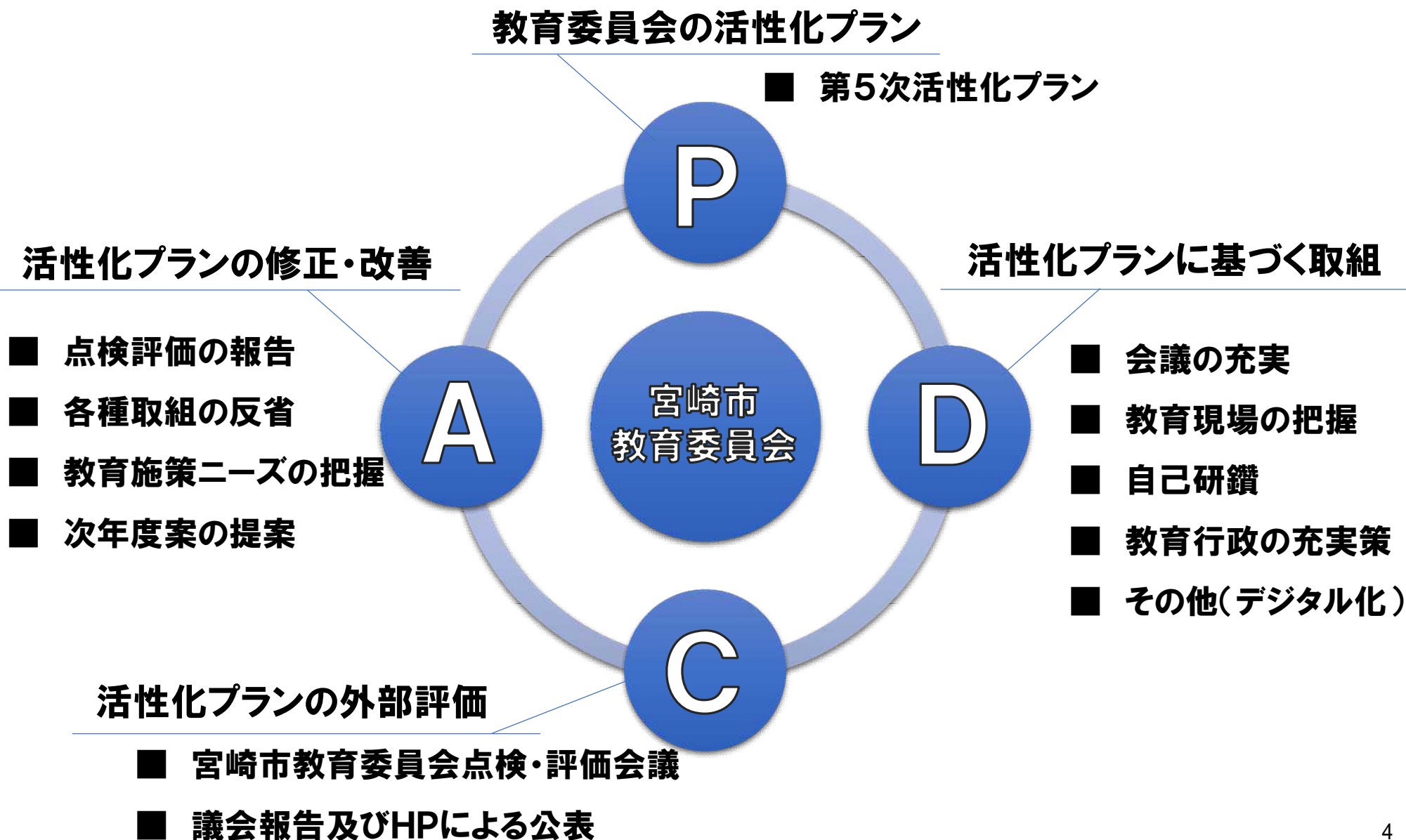
4

教育委員会「活性化プラン」(R3年)現行

教育委員会の責任の明確化・体制の充実

▶ 広く市民の声を聴き、教育施策の現状や課題についての理解を深める

教育委員会活性化に向けたPDCAサイクル



2 現在の取組内容と変化

第5次活性化プラン

活性化プランに基づく取組

D

- 1 会議の充実
- 2 教育現場の把握
- 3 自己研鑽
- 4 教育行政の充実策
- 5 その他(デジタル化)

1	教育委員会会議の充実のための取組	
	1	教育委員会(定例会)における「その他」の時間の活用
	2	教育委員会ディスカッションの開催
2	教育現場の実情を把握するための取組	
	1	学校訪問の実施
	2	「地域・家庭・学校と教育委員会との意見交換会」の開催
	3	「中学生と教育委員会との意見交換会」の開催
	4	「教職員と教育委員会との意見交換会」の開催
	5	移動教育委員会(定例会)の実施
3	教育委員会の自己研鑽に関する取組	
	1	教育委員会先進地視察への参加(隔年)
	2	各種教育委員研修会への参加
	3	各種教育に係るイベント等への参加
4	充実した教育行政を推進するための取組	
	1	第二次宮崎市教育ビジョンの検証(「点検・評価会議」等)
	2	市長部局との連携強化(「総合教育会議」等)
5	その他(デジタル化への対応)	
	1	機動的で迅速的な情報共有ツールの導入(コロナ禍対応等)
	2	効率化を図る議事録作成ツールの導入(AI議事録ソフト)

2 現在の取組内容と変化

プランに基づく取組

D

■ 1 会議の充実

定例会後の「勉強会」の設定

概要

- ・原則、毎月1回定例会後(30～60分程度)で実施。
- ・事務局で教育的ニーズの高いテーマや教育課題について担当課が資料やスライドを使って説明を行い、意見交換を実施。

4月	今年度の主な重点目標や教育施策について	10月	・「令和5年度教育委員会新規事業」について ・地域・家庭・学校との意見交換会事前レク
5月	夜間中学校設置について	11月	移動教育委員会(現地研修):大淀川学習館 ※検討中
6月	宮崎市「国重要文化財 下北方地下式横穴墓出土品」について	12月	(学校教育課) 教育的課題について ※検討中
7月	総合教育会議テーマに関する勉強会	4月	(学校施設課)長寿命化計画 ※検討中
8月	予算の審議のため実施しない	5月	予算に関する議案があるため実施しない
9月	教育委員会の活性化についての意見交換会	6月	人事関係等の報告があるため実施しない。



2 現在の取組内容と変化

総合教育会議 事前勉強会

1 スケジュールに基づいた計画の進捗について 授業

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
スケジュール		▶								

5月末 **タブレット端末設定完了**に伴い、各学校で活用



これまで調べ学習といえ書室やパソコン室でしかかったことが、一人ひと分のペースで端末を使っターネットで検索できるなりました。

授業の中で自分の考えるために授業支援ソフトで自分の意思を表示できなりました。

2 現在の取組内容と変化

プランに基づく取組

D

■2 教育現場の把握

意見交換会の開催

概要

- ・「地域・家庭・学校」との意見交換会： 例「GIGAスクールにおける取組」
- ・「中学生」との意見交換会： 例「学校が楽しいと思うとき・家庭学習」
- ・「教職員」との意見交換会(予定)： 「教師のやりがい・タブレット端末の活用」



地域・家庭・学校との意見交換会



中学生との意見交換会

2 現在の取組内容と変化

プランに基づく取組

D

■2 教育現場の把握

移動教育委員会の開催

概要

- ・例年1回程度、社会教育施設等で定例会を開催。
- ・定例会後の時間帯で、視察を実施。
- ・これまで、科学技術館や歴史文化施設などで実施。



日本遺産(古墳群)の施設視察



科学技術館にてVR体験

2 現在の取組内容と変化

プランに基づく取組

D

■3 自己研鑽

概要

- ・先進地視察(隔年)
- ・教育講演会への参加
- ・イベント等への参加

研修会・イベント等への参加

- 例:コミュニティ・スクール、夜間中学
- 例:未来の教室講演会(市教委主催)
- 例:キャリア教育「ゆめパーク」(市長部局主催)



宮崎市「未来の教室」講演会



体験型進学就職イベント「ゆめパーク」

2 現在の取組内容と変化

プランに基づく取組

D

■4 教育行政の充実

市長部局との連携強化

概要

【事例】総合教育会議の充実

- ・テーマに関係する部局(財政部局や福祉部局)職員がオブザーバーとして参加。
- ・宮崎市教育CIO(外部人材の登用)による参加(R3)
 - ※ 神野元基 氏(文部科学省中央教育審議会臨時委員 他)



2 現在の取組内容と変化

総合教育会議で事業化された内容

年 度	テ ー マ	事業化されたもの 等	事 業 内 容
H28	キャリア教育の充実	「地域とつながる」キャリア推進事業	中学2年生（約3,500人）の職場体験 キャリア教育推進モデル校区実践研究
		特別支援教育の充実	「授業スタッフ」「スクールサポーター」「生活・学習アシスタント」を配置（3つの支援員事業を再構築し、支援対象学級を拡大するなど、学校のニーズに対応）
H29	児童生徒一人一人の特性に応じた対応について	あたたかな人間関係づくりサポート事業	人間関係づくりやよりよい学級づくりを支援するため、小5、中1を対象に「よりよい学校生活と友達づくりのためのアンケート（hyper-QU）」
H30	これからの学校づくりについて	コミュニティ・スクール推進体制構築事業	地域と一体となって子どもたちを育むため、C・S推進委員会を設置し、C・Sを推進
		学校における法律相談事業	問題解決や教職員の負担軽減を図るため、弁護士による学校への助言や教職員向け法務研修
R1	宮崎市ならではのコミュニティ・スクール	コミュニティ・スクール推進体制構築事業	令和2年度モデル校設置（4校区）のため予算を計上
		「宮崎市学校運営協議会規則」の制定	市C・S推進委員会を設置し、全小中学校によるC・Sを推進
R2	これからの子どもたちの学びについて	GIGAスクール推進事業	宮崎市ならではの「未来の教室」の創造を目指すため、AI型教材の導入により、児童生徒一人一人に個別最適化された学びを補償し、教科教育の効率化を図る
		情報教育推進事業	
		学校ICT環境整備促進事業	
R3	宮崎市ならではの未来の教室』の創造について	授業時数特例校のモデル校設置(R4)	文科省認定の特例校（小学校2校、中学校2校）

2 現在の取組内容と変化

プランに基づく取組

デジタル化への対応

■5 その他

概要

- ・「LoGoチャット」を使い、コロナ感染状況を毎日教育委員へ報告。
- ・研修やイベント参加の出席確認にも利用している。
- ・定例会の議事録作成にAI機能を含む「文字変換ソフト」を活用。

1 情報共有ツールの活用

LoGoチャット



- 本市導入の行政職員用の連絡ツール
- チャット形式で迅速化・効率化
- 教育委員と職員間で情報共有が可能

2 AI型議事録作成ツールの活用



- 本市導入の作成ツール
- 文字変換後、修正作業にて効率化を図る
- 高度なAI機能を有するソフト活用は今後の課題

3 取組に対する評価と効果

活性化プランの外部評価

施策の点検・評価会議

概要

■ 宮崎市教育委員会点検評価会議

- ・宮崎市教育ビジョンの全体的な点検評価の中に「活性化プラン」を位置付け、外部評価(有識者・保護者代表)を受けている。
- ・特段の指標は設けていないが、委員に意見をもらい、議会へ報告や市民への公表を行っている。

事務局として総括を記載

令和4年度(案)

教育に関する事務の管理及び
執行状況の
点検・評価に関する報告書
(令和3年度事業対象)

令和4年〇月

宮崎市教育委員会

- 教育委員会では、令和3年度より、令和3年度から令和4年度までの2年間を計画期間とする「**宮崎市教育委員会第5次活性化プラン**」に基づき活動しています。本プランは、取組をより効果的に進めていくことができるよう、これまでの活性化プランの取組を目的ごとに整理し、第二次宮崎市教育ビジョンのスタートと合わせて取組を開始したものです
- 「**教育委員会会議の充実**」につきましては、(中略)…について委員へ事前の説明を行い、意見をいただきました。
- 「**教育現場の実情の把握**」においては(中略)…共有することができました。
- 「**教育委員の自己研鑽**」においては、(中略)…を行いました。
- 「**充実した教育行政の推進**」においては、(中略)…和元年度から引き続き、第二次宮崎市教育ビジョンの進捗状況の検証も行う形で点検・評価を行いました。
- また、**宮崎市総合教育会議**では、(中略)…教育委員会と市長部局の取組を踏まえながら、市長と方向性を共有しました。
- 今後も、教育委員としての資質を高めるために、事務局とも連携・協力し、勉強会等において継続して知識を深めるとともに、教育現場の実情把握に努め、活動の活性化を図ってまいります。

4 取組に対する課題

活性化プランの修正・改善

A

R3～4年度の改善点

- 教職員との意見交換会
- デジタル化ツールの導入
- オンラインミーティングの実施
- 総合教育会議テーマ決定 等

前年度プランによる取組の実施

教育ニーズの把握

- ・ 教育委員の声、国・県の動向

各種取組の反省点

- ・ 意見交換会、研修等

点検評価の報告

- ・ 外部委員による事項

今年度プランの改善

4 取組に対する課題

運営面

- 教育委員に対する日常的な情報共有と意見聴取の在り方
- 教育委員会事務局の「教育委員会」に対する帰属意識の向上
- 地域住民への積極的な広報活動の充実

研修の充実と負担軽減の両立

- 教委・学校関係行事の精査・調整
- オンライン開催に切り替えることで、場所や時間の制約を受けない
研修の在り方
- デジタル化の推進によるペーパーレス会議や事前レク等の検討